

■第7回「インフラメンテナンス大賞」を受賞しました

1 「インフラメンテナンス大賞」とは

インフラメンテナンス大賞は、社会資本のメンテナンス（インフラメンテナンス）に関わる優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することで、インフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に、平成28年度から実施されているものです。

以下の各部門における優れた取組や技術開発に対して、有識者による審査を経て、内閣総理大臣賞、各省大臣賞、特別賞、優秀賞が贈られます。

① メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫

② メンテナンスを支える活動部門

市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動

③ 技術開発部門

インフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

今年度は317件の応募があり、このうち、宮城県企業局の「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）（以下、「みやぎ型」といいます。）の導入」が①の部門において国土交通大臣賞を受賞し、令和6年1月18日（木）に首相官邸で表彰式が開催されました。



<インフラメンテナンス大賞表彰式の様子>



2 取組概要

宮城県企業局が保有する浄水場、浄化センター等の施設をコンセッション方式で運営する「みやぎ型」が令和4年4月1日から始まりました。

みやぎ型では、水道3事業（水道用水供給事業、工業用水道事業及び流域下水道事業）の施設運営を一体的に民間に委ね、民間の創意工夫を最大限活用することで、コスト削減を実現し、水インフラの安定性、技術革新及び持続性の確保に道筋をつけました。

事業主体（運営権者等）となった株式会社みずむすびマネジメントみやぎ・株式会社みずむすびサービスみやぎは本事業の規模・期間・範囲のスケールメリットを活かし、水インフラを一体的に運営する管理体制を構築するとともに、デジタル技術等の導入により新たな官民連携モデルを作り上げました。また、宮城県企業局としても、全国の水インフラにおける経営基盤強化の新規モデルとして、モニタリング体制構築や積極的な情報発信に取り組んでいます。

3 受賞理由

水インフラ分野では前例のない水道用水供給事業、工業用水道事業及び流域下水道事業の水道3事業の施設運営について、コンセッション方式を活用し、一体的に民間に委ねることで、デジタル技術の活用など民間企業の創意工夫を最大限活用しながら、20年間で337億円のコスト削減を図っていることが評価されました。

「みやぎ型」は宮城県企業局と運営権者が協力し、20年間運営していく事業となります。
今後も、安全・安心な水の供給と安定的な汚水の処理に努めてまいります。

■受水池での洗管作業の現地説明会（技術継承）を開催しました

1 送水管路末端の洗管作業について

大崎広域水道事務所管内10市町村の受水池に設置されている流量計は8年ごとに更新しており、受水池によって流量計更新作業の際に操作するバルブの位置や数が異なるため、流量計の更新の際には受水池ごとに操作手順を確認し、排水・洗管作業をしっかりと行い、安全な水を供給する必要があります。

そのため、事務所職員と流量計更新工事を行う（株）みずむすびマネジメントみやぎ、（株）みずむすびサービスみやぎ社員を対象とした排水・洗管作業の説明会を開催し、技術継承を図りました。

2 令和5年度に開催した現地説明会について

1) 現地説明会の内容

- ・受水流量計室内とその周りのバルブについての説明
- ・送水管、排泥管とその流末についての説明
- ・バルブの操作手順についての説明（注意点も含めて）

2) 説明会の開催時期

6月 涌谷受水池（現地説明会では、涌谷町のオーバーフロー管を使用するため、町職員も参加しました）

9月 小野田低区、中新田、小牛田、松山第1、南郷、三本木、大和（麓山）の各受水池

12月 富谷第1、富谷第2の各受水池

2月 古川、松山第2、鹿島台、大衡の各受水池

※ 前年度に実施した5箇所の受水池での説明会を含め、大崎広域水道事務所管内すべての受水池で、現地説明会が終了しました。



＜涌谷受水池での説明会＞



＜オーバーフロー管操作＞



＜受水流量計での説明＞



＜富谷受水池での説明会＞



＜汚泥流末管の確認＞



＜バルブの操作説明＞

■石巻浄化センターを会場に流域下水道まつりを開催しました！

令和元年を最後に、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴って開催を中止していた「流域下水道まつり」を、石巻浄化センターを会場として令和5年10月6日に4年ぶりに開催することができました。「流域下水道まつり」は、浄化センターの役割を地元企業や周辺住民の方々により深く知っていただくため、東部下水道事務所と事務所管内浄化センターの指定管理者である株式会社アイ・ケー・エスが共同で開催しています。

石巻市のご協力による下水道絵画展に加え、新たなイベントとして、全国で800種類以上発行されているマンホールカードの展示を行いました。他にも、ステージイベントや施設の見学ツアー等の様々なイベントが行われ、大変盛り上がりしました。



＜全国のマンホールカード展示＞

現在発行されている全てのマンホールカードが集合し、来場者の方々に大変好評をいただきました。特に人気漫画のキャラクターが描かれたカードが注目を集めていました。



＜カラーマンホール展示＞

管内のカラーマンホールが勢揃いしました。航空自衛隊の飛行機が描かれた東松島市のマンホールが老若男女を問わず人気でした。



＜下水道絵画展＞

市内の小中学生が下水道をテーマに様々な視点から描いた絵です。来場者の方々もじっくりと力作を鑑賞していました。



イベント当日は、天候にも恵まれ例年より多い総計2,048人の方々に来場いただきました。



＜出店コーナー＞

射的や食べ物の屋台、キッチンカーなど様々な出店があり、会場を盛り上げました。



■みなとオアシス仙台港ウォーク開催しました！

令和5年10月14日（土）に、「第5回みなとオアシス仙台港ウォーク」を開催しました。

当日は、過去最多となる186名（スタッフ含む）の方々にご参加いただき、快晴の中、秋の仙台港周辺を闊歩しました。

参加者は、コース内の至る所で震災からの復興を実感できる街並みや景色を目の当たりにするとともに、参加者同士のコミュニケーションを楽しみながら歩かれた様子でした。

完歩後は、「好天に恵まれ素晴らしい景色を見られた」、「来年も参加したい」などといった声が多数寄せられ、イベントは盛況のうちに終了しました。

【当日の様子】



【第37号編集担当・お問い合わせ先】

公営事業課総務班（事務局）

電話：022-211-3413

E-mail：kigyo@pref.miyagi.lg.jp

【企業局の情報はこちら】

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/16.html>

【メビウスのバックナンバーはこちら】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kigyo/mebiusu-alchive.html>